

3 沿線地域における調査の前提条件の整理

沿線地域における調査の前提条件の整理を行うため、各市区に対してヒアリング調査を行った。ここでは、ヒアリング調査結果についてとりまとめた。

ヒアリング内容の主な項目は以下の通りである。

(ヒアリングは、平成16年9月(または10月)に行った。内容は、ヒアリング実施日時点のものである。)

ヒアリング内容

- ・ 将来人口フレームについて
- ・ 地域構想・計画について
- ・ 道路網の整備について

(1) 将来人口フレームについて

表 3-1 将来人口フレーム総括表

	練馬区	清瀬市	新座市	所沢市
上位計画による 平成27年 人口の推計			×	×
上位計画 による設定値	70.9万人 (平成27年)	7.5万人 (平成27年)	16.1万人(平成22年) 16.7万人(平成32年)	37万人(平成22年) 40万人(平成28年)
平成27年人口 フレームの 作成方法	上位計画 による	上位計画 による	上位計画値 の線形補間	上位計画値 の線形補間
地区別推計値	なし	なし	なし	なし
開発人口	含む 注)外環がらみ の開発は含ま ない。個々の計 画の積み上げ ではない。	含む 注)新たな開発 や面整備及び 中高層住宅建 て替え等によ る人口増加 (6,000人)を 含む。	含まない 注)開発による増加分 は、趨勢による増加分 に含む。	含まない

(2) 地域構想・計画について

練馬区

表 3-2 地域構想・計画（練馬区）

開発プロジェクト等	種別	計画面積	計画人口	熟度
土支田中央土地区画整理事業	複合系	14.3ha	2,100人	現状は300人 事業中
練馬駅周辺地区整備	複合系	17.7ha		事業中
石神井公園駅周辺地区整備	複合系	25.8ha		事業中 再開発は完了
練馬高野台駅前地区（地区計画）	複合系	7.8ha		事業中
大泉学園駅周辺地区整備	複合系	14.2ha		事業中 再開発は終了
練馬春日町駅周辺地区整備	複合系	11.2ha		事業中 再開発は終了
大泉町一丁目土地区画整理事業 （組合施行）	住居系	2.1ha	200人	平成17年度完了予定

清瀬市

- ・都営住宅の老朽化による建替えと高層化は一部進んでいる。
- ・今後、具体的な建替えの計画はなく、都としては市への移管の方向で考えている。
- ・H16.6に都市計画の見直しを行い、最低敷地面積（120㎡）、建ぺい率・容積率の緩和、準防火地域の指定、高度地区の設定等を実施。

新座市

表 3-3 地域構想・計画（新座市）

開発プロジェクト名	種別	計画面積	計画人口	熟度
東北土地区画整理事業	複合	65.0ha	6,500人	計画中
（仮）新座駅北口土地区画整理事業	住居系 一部商業	約31.5ha	3,150人	事業化計画中 （H30頃）
新座駅南口土地区画整理事業	商業系	8.1ha	810人	H16工事完了
新座駅南口第二土地区画整理事業	住居系	37.4ha	3,740人	整備中（～H20）
中野土地区画整理事業	工業系	7.6ha	0人	整備中（～H17）
野火止七丁目地区土地区画整理事業	住居系	2.2ha	220人	整備中（～H16）
（仮）野火止五丁目北地区土地区画整理事業	住居系	約6.0ha	600人	事業化計画中 （H17,18～22,23）

- ・新座市では、地域再生に対する取り組みとして、「観光都市にいざ・雑木林とせせらぎのあるまちづくり」を策定し、市全域における観光都市づくりを推進している。

【観光都市にいざづくり推進に向けて】(新座市ホームページより抜粋)

首都近郊にありながら、今もなお豊富に残る自然資源や文化遺産、地域の特産品などを有機的に結び付け、観光都市として地域の再生を図ることで、地域雇用の創出、地域経済の活性化につなげようとする計画です。

【地域再生計画】(新座市ホームページより抜粋)

新座市は、東京都に隣接する位置にありながら、市の中央に国指定天然記念物に指定されている平林寺境内林(約56ヘクタール)が存在し、(中略)

このように、新座市が観光都市として発展していくことで、地域住民の地域に対する愛着心も高まり、さらに地域を再生させていこうという意識が強まることが期待されることから、行政、地域住民及び事業者が一体となって持続可能な地域再生を実現し、都市間競争の時代において一歩先行く元気の出るまちづくりを推進していきます。

所沢市

- ・ 所沢駅周辺の中心市街地では、複数の市街地開発事業が計画されている。
- ・ 東所沢駅周辺には、特に計画はない。カルチャーパークは、一部供用済みであるが、その他は特に具体的なものはない。

(3) 道路網の整備について

表 3-4 道路網の整備状況

	練馬区	清瀬市	新座市	所沢市
整備状況	<ul style="list-style-type: none"> ・環八は平成17年度本線開通予定 ・放35(環八の北側)平成15年より測量開始 ・放7平成16年より測量開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅計画はなく、全て都市計画道路の整備 ・3.4.13号については、都の「みちづくり・まちづくりパートナー事業制度」で整備予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路として、東久留米・志木線(新設)の整備(西東京市境～水道道路)が着手予定 その他、市道の整備が予定されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市では計画道路38路線あるうちの総延長の約6割程度が整備されている。優先路線に重点をおいて整備を進めている。

(4) その他

練馬区

- ・特になし

清瀬市

- ・12号線の路線構造については、清瀬市内は地下構造が望ましい。

新座市

- ・新座 I.C 設置構想については、基本構想、都市計画マスタープランにも位置付けされておらず具体的な整備方針等について定まっていない。
- ・インターチェンジ、都市計画道路保谷朝霞線、馬場地区・池田地区に想定される12号線の新駅と一体的な接続を想定している。
- ・逆線引き区域については、順次、市街化区域に編入する方向である。

所沢市

- ・総合計画(前期)では12号線整備がうたわれていたが、現在策定中の総合計画(後期、平成18年以降)で、取り扱いは今後検討。
- ・市民意識調査でも、既存路線の増発、乗換利便性の向上などは出てきているが、12号線整備に対する要望はない。
- ・秋津付近の短絡線を使って、武蔵野線と西武池袋線の直通運転を行うという県の構想がある。

